

3 調査会審議経過

【国際問題に関する調査会】

(1) 活動概観

〔調査の経過〕

本調査会は、第143回国会の平成10年8月31日に設置された。

今期第143回国会においては、今後3年間にわたる調査のテーマを「21世紀における世界と日本―我が国の果たすべき役割―」とすることに理事会で決定し、平成10年9月25日、その旨を調査会に報告した。

また、調査項目については、アジア及び世界の安全保障の確保、アジア経済及び世界経済の持続的発展の確保、国連の今日的役割、政府開発援助の在り方、我が国外交の在り方等について調査を進めていくことが会長より発言された。

今国会の会期中の調査は1回行われた。

平成10年9月25日に「21世紀における世界と日本」のうち、国連の今日的役割について、明石康参考人（広島平和研究所所長・前国際連合事務次長）から意見を聴取した後、質疑を行った。なお、佐藤行雄国際連合日本政府代表部特命全権大使より赴任に際しての発言があった。

このほか、平成10年10月8日に金大中大韓民国大統領訪日特別随員（同国国会議員等）と「北東アジアの安全保障・アジア経済危機について」懇談を行った。

〔調査の概要〕

平成10年9月25日の調査会では、国連の今日的役割について明石康参考人から意見の聴取を行った後、委員から日本の安保理常任理事国入り問題、国連における日本人職員育成の必要性、憲法9条に関する各国の認識度、国連平和維持活動（PKO）への自衛隊の参加実態、国連の21世紀的役割、国連の機能強化策、集団安全保障体制と地域機構の在り方等について質疑が行われた。

(2) 調査会経過

○平成10年8月31日（月）（第1回）

- 調査会長を選任した後、理事を選任した。

○平成10年9月25日（金）（第2回）

- 調査項目の選定について会長から報告があった。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 「21世紀における世界と日本」のうち、国連の今日的役割について参考人広島平和研究所所長・前国際連合事務次長明石康君から意見を聴いた後、同参考人に対し質疑を行った。

○平成10年10月16日（金）（第3回）

- 国際問題に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については会長に一任することに決定した。